

⑦総評

◇特に評価の高い点

◆サービス評価の徹底

養育・支援の振り返りとして、「権利擁護チェックリスト」や「仕事状況チェック表」による毎月の自己チェックを行っている。それに加え、ユニット会議での毎月のサービス評価を実施し、検討の上職員会議で周知し改善につなげている。職員個々だけに留まらず、チームや全体でのサービスチェックを重層的に行うことで、適正なサービス提供へのPDCAサイクルを強化し、支援向上を図っている。

◆管理者のサービス向上への取組み

管理者は、毎月のユニット会議でのサービス評価を受け、サービスの現状分析を行い、職員会議で改善への方向性を示している。また、外部講師を招いての施設内研修を毎月実施し、支援の質の向上に努めるとともに、毎月実施する「仕事状況チェック表」では、職員の支援方法に対するコメント評価を行うなど、多面的なサービス向上への姿勢がうかがえる。

◆子どもを尊重する姿勢

理念や事業計画の中で、子どもの最善の利益、権利擁護の姿勢が示されている。「安心・安全マニュアル」では、子どもを尊重した養育・支援に関する基本的な姿勢が確認できる。意見の言える機会、プライバシーへの配慮をはじめ支援内容や日常生活の随所に、「子ども第一」の運営が確認できる。

◇改善が望まれる点

◆中長期計画の策定

国や県の社会的養護推進計画を念頭に事業が進められているが、事業所としての中・長期計画は策定されていない。事業の展望や方向性を具体的に示す指針として、中・長期計画の策定が望まれる。

◆体系的なOJT

OJTは、現場での実践的な指導を通して行う育成方法として最も効果的な研修形態の一つであり、目標設定から評価までを体系的に実施することでより有効に機能する。特に新任職員育成にあたっては、一般的な新任研修に加え是非とも力点を置いて実施していただきたい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

当施設は歴史が浅く、職員の経験年数も未熟な中、(株)中部評価センターで第三者評価を実施したのは、前回に続き2回目です。

当施設では、子どもの最善の利益の実現及び入所児の安心・安全確保のため日々施設運営に努力してきました。

今回、第三者評価を実施した結果、「子ども本位の養育・支援」や「理念・方針と経営状況の把握」及び「養育・支援の基本」、「施設長の責任とリーダーシップ」において高評価いただき、当施設の取組みや方向性が間違っていなかったことが確認できました。反面、「評価項目数に対する出来ている項目数の割合」で、ある程度出来ているとされたものの、a評価までに至らなかった点については、改善に向け努力をいたします。

最後に、評価員の皆様には当施設の説明をしっかりと受け止めていただき、改める点は簡潔明瞭にご指摘いただくとともに親切丁寧にご指導いただきましたことありがとうございました。

⑨第三者評価結果（別紙）